

令和7年12月市議会定例会議案概要説明

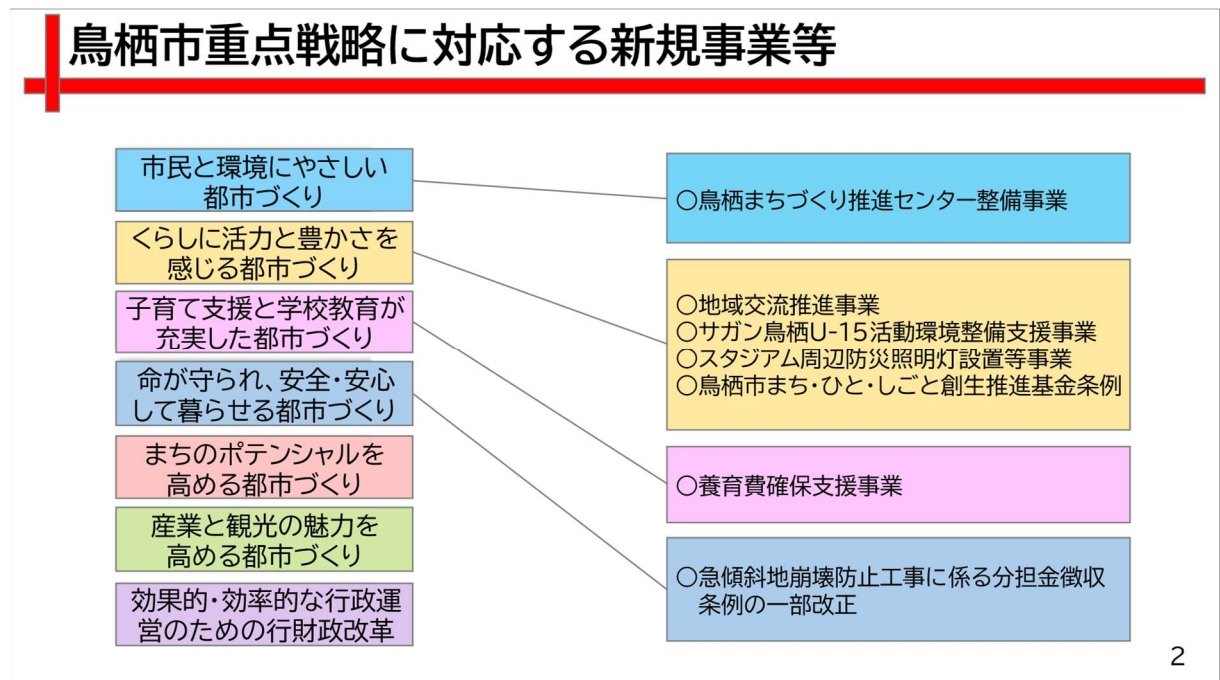
令和7年12月市議会定例会につきましては、12月2日に招集することと、11月25日に告示を行いました。

なお、12月市議会定例会では、甲議案20件、乙議案4件、報告2件の合計26件についてご審議をお願いすることとしております。

また、12月補正予算につきましては、

- ・ 新たな鳥栖まちづくり推進センター、実施設計へ
 - ・ 地域の活力を生むプロスポーツチームへの支援や環境整備
 - ・ こども・子育て支援を強化、さらなる支援充実へ
- など、一般会計で約9億1千万円の補正予算となります。

それでは、令和7年度12月補正予算及び条例議案の概要について、ご説明いたします。



第7次鳥栖市総合計画において、とくに私の公約との親和性が高い事業を「重点戦略」として位置付け、「7つの柱」で分類しておりますが、今回の補正予算につきましては、そのうちの「4つの柱」に該当する予算

及び条例を提案いたしました。

まず、ひとつ目の柱「市民と環境にやさしい都市づくり」でございます。

市民と環境にやさしい都市づくり

○鳥栖まちづくり推進センター整備事業 74,300千円

新たな鳥栖まちづくり推進センターの整備事業にあたり、基本設計業務の進捗に伴い、本体実施設計及び敷地周辺整備設計を行います。



新たな鳥栖まちづくり推進センター（イメージ）

＜スケジュール（予定）＞

| | |
|-------|---------------|
| R6～7 | 基本設計、分館解体設計 |
| R7～8 | 実施設計、敷地周辺整備設計 |
| R8 | 分館解体工事 |
| R8～9 | 造成工事 |
| R9～10 | 新築工事 |

3

『鳥栖まちづくり推進センター整備事業』につきましては、新たな鳥栖まちづくり推進センターの整備に向け、予定どおり、今回、実施設計と敷地周辺整備設計を行うものです。

今後もスケジュールに沿って着実に進めてまいります。

次に、ふたつ目の柱「くらしに活力と豊かさを感じる都市づくり」でございます。

くらしに活力と豊かさを感じる都市づくり

○地域交流推進事業 7,425千円

企業版ふるさと納税制度を活用して、Jリーグ2026-2027シーズンからの秋春シーズン移行に際し、2026年2月から6月にかけて開催される特別大会においてもレギュラーシーズン同様、冠スポンサー協賛及び観戦促進事業（グループシート）の支援を行います。

○サガン鳥栖U-15活動環境整備支援事業 6,000千円 **新規**

企業版ふるさと納税制度を活用して、サガン鳥栖U-15に対して、活動環境整備支援を行います。

○スタジアム周辺防災照明灯設置等事業 67,700千円

企業版ふるさと納税制度を活用して、スタジアム周辺等の防災照明灯の設置を行い、サガン鳥栖のホームゲーム開催時の利便性向上及び防災力の向上を図ります。あわせて、老朽化が進んでいるスタジアム周辺の既設外灯のLED化を行います。

スタジアム周辺防災照明灯設置工事費 40,000千円 **新規**
スタジアム外灯LED化工事費 27,700千円



地域交流推進事業



駅前不動産スタジアム

4

企業版ふるさと納税でいただきました寄附の活用事業といたしまして、『地域交流推進事業』『サガン鳥栖U-15活動環境整備支援事業』『スタジアム周辺防災照明灯設置等事業』を行います。

『地域交流推進事業』につきましては、Jリーグが2026-2027シーズンから秋春シーズンに移行することに伴いまして、2026年2月から6月までの間に開催される特別大会につきましても、レギュラーシーズン同様に、冠試合の開催など支援を行うものです。

『スタジアム周辺防災照明灯設置等事業』につきましては、スタジアム周辺に太陽光で充電するLED照明灯を追加で設置し、ホームゲームの際の明るさ不足の解消や、停電が発生した際にも独立して照らせますので、災害等の際の照明の確保につながるものと期待しています。

あわせて、老朽化が進んでいるスタジアム周辺の既設の照明につきましてもLED照明に改修してまいります。

くらしに活力と豊かさを感じる都市づくり

〇鳥栖市まち・ひと・しごと創生推進基金条例 **新規**

企業版ふるさと納税制度をより柔軟かつ効果的に活用するため、企業版ふるさと納税用の基金である「鳥栖市まち・ひと・しごと創生推進基金」を設置し、8,000万円を積み立てます。



「スポーツのまち鳥栖！」実現プロジェクト

鳥栖市のシンボルであるサガン鳥栖スタジアムは、鳥栖駅から徒歩3分の好立地や運動環境の良さが高く評価され、世界のスタジアムに選ばれる予定です。
市では、このスタジアムを核にスポーツ振興の機軸向上にむけた取り組みを推進しており、企業版ふるさと納税による寄附金を各スポーツ施設の整備費に活用しています。
市民一人ひとりがスポーツに積極的になり、スポーツを「楽しむ」「する」「伝える」環境を整えるため、プロジェクトの推進に貢献いただける企業・団体の皆様からのご支援をお待ちしています。



子どもと高齢者の交流活動を促進する
遊具の魅力向上プロジェクト

教材「日本橋」で心を育み、水辺環境の充実で体を鍛えることで、子供を魅力的な学びの場とするために寄附金を活用します。学びと成長を支える鳥栖の教育プロジェクトにご支援をお願いします。

老朽化の進む遊具を、世代も年齢も結んで共に遊べる「インクルーシブ遊具」へリニューアルするために寄附金を活用します。子どもたちの未来を育む新しい遊具の場づくりにご参加ください。

心から心、絆を育む
学校の魅力向上プロジェクト

『鳥栖市まち・ひと・しごと創生推進基金条例』でございますが、企業版ふるさと納税制度によりいただきます寄附金を柔軟に活用していくた

めには、当該目的に用途を限定する専用の基金を準備する必要がありますことから、創設するものでございます。

8000万円という金額につきましては、今年度いただきました寄付金により縮減を図ることができました市の一般財源の総額を参考にしたものでございます。

3つ目の柱となります「子育て支援と学校教育が充実した都市づくり」でございます。

子育て支援と学校教育が充実した都市づくり

○養育費確保支援事業 290千円 新規

離婚によって子を養育する保護者が養育費を継続して受け取れるよう支援するため、養育費の取決めに係る公正証書や家庭裁判所の調停申し立てにかかる費用及び養育費保証契約を締結する際に必要な経費について、補助金を交付する国の事業に取り組みます。

※検討中のこども・子育て支援関連事業

- ・子育て短期支援事業における夜間養護等(トワイライトステイ)事業
- ・5歳児健康診査事業
- ・新生児聴覚検査事業
- ・こどもの居場所づくり支援事業
- ・乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)

6

『養育費確保支援事業』につきましては、離婚されたひとり親家庭の養育費の確保について、公正証書の作成や家庭裁判所の調停申し立てにかかる費用を補助する国の制度に取り組むものです。

そのほかにも、国の支援メニューにあるもので本市において取り組めていない事業等がございますので、必要性やニーズを精査し、こども・子育て支援のさらなる強化に繋げてまいります。

最後に、「命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり」でございます。

命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○急傾斜地崩壊防止工事に係る分担金徴収条例の一部改正

近年の豪雨等により発生リスクが高まっている土砂災害から市民の生命を守るため、住民が事業に取り組みやすい環境整備として、分担金の額の軽減を図ります。

| | |
|------------|--|
| 現行 | (分担金の額) 第3条 分担金の額は、次のとおりとする。 (1)県が工事を行う場合 工事に要する市の負担額の2分の1 (2)市が工事を行う場合 工事に要する費用から、県から交付される補助金等の額を控除した額の2分の1 |
| 改正 (追加) | 2 前項の規定にかかわらず、前項各号により算定した分担金の額が、当該工事の受益者（第4条に規定する分担金の徴収を受ける者をいう。）にかかる人家の戸数に200万円を乗じて得た額を超える場合は、当該戸数に200万円を乗じて得た額を分担金の額とする。 →「各号の額」と「対象戸数×200万円」を比較し低い方の額とする |

7

『急傾斜地崩壊防止工事に係る分担金徴収条例の一部改正』につきましては、近年の豪雨等により激甚化する災害から生命を守るため、分担金を軽減し、住民の皆様が対策工事などに取り組みやすくするものです。

現行制度では、県が工事を行う場合、総事業費の10%を住民の方にご負担いただく仕組みでございますので、大規模な対策工事が必要な場合など、ケースによっては高額な負担になることが想定されますことから、「対象戸数×200万円」をご負担いただく額の上限とする改正を行うものでございます。

以上が、12月補正予算の主な内容となりますが、今回、9億1215万4000円を補正し、補正後の一般会計予算額は370億7780万7000円となります。

令和7年度12月補正予算

令和7年度 12月補正予算 9億1,215万4千円
(補正後 370億7,780万7千円)

対前年度同期 補正額 +2,794万1千円 +3.2%
予算比較 (補正後 +29億6,743万円) +8.7%

8